

秋山財団「受領者からのメッセージ」及び特別講演会のご案内

公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団では、2015 年度 贈呈式式典の中で、標記のプログラムについては、一般公開致します。

今年度の公開プログラムは、秋山財団の受領者（受領プロジェクト）の中から 3 名の方に「受領者からのメッセージ」としてご発表頂く企画とノンフィクション作家・評論家 保阪正康氏を講師にお招きしての特別講演会です。

秋山財団では、市民の皆様、教育関係者、学生の皆様などの、ご出席を心待ちにしております。

○日時：9月3日（木） 13時30分～15時40分

○会場：札幌プリンスホテル 国際館パミール 3階

（札幌市中央区南3条西12丁目 Tel011-241-1111）

○「受領者からのメッセージ」

- ・『「光るタンパク質」を使ったウイルスの細胞侵入機構の研究』
- ・『ソフトとハードのサイエンス：生態学は人を幸せにする？』
- ・『大地とつながるライフスタイルヘチェンジ！』

○ 特別講演会

- ・講師：保 阪 正 康 様（ノンフィクション作家・評論家）
- ・演題：『「戦後70年を考える」
～ 歴史的視点での考察 ～ 』

《ご予約について：必ず事前予約が必要》

○一般公開（募集定員）：50名、無料（※先着順です。定員となり次第締め切ります）

○ご予約方法：財団事務局宛に、メールまたはファックスにて、お申込み下さい。

（※下記ご参照下さい。お電話でのご予約はできませんので、ご注意下さい）

○ご予約の際には、「お名前」、「ご住所」、「お電話番号」をお知らせ下さい。

○「受領者からのメッセージ」及び特別講演会は13時30分～15時40分までの、ワンセットのプログラムです。途中での入場は出来ません。

《プログラムについて》

- ・9月3日、12時30分開場（受付は2階）、13時30分開始、自由席です。

以上

公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団事務局

〒064-0952 札幌市中央区宮の森2条11丁目6番25号

TEL：011-612-3771

FAX：011-612-3380

E-mail：office@akiyama-foundation.org

<http://www.akiyama-foundation.org>

《ご参考：保阪 正康（ほさか まさやす）氏》

【プロフィール】

1939 年（昭和 14 年）12 月札幌市生まれ。札幌東高校から同志社大学文学部社会学科卒業。出版社勤務を経て著述活動に入る。主に近代史（特に昭和史）の事件、事象、人物に題材を求め、延べ 4,000 人の人々に聞き書きを行い、ノンフィクション、評論、評伝などの作品を発表する。立教大学講師、国際日本文化研究センター共同研究員などを務める。現在、個人誌『昭和史講座』を主宰。2004 年に一連の昭和史研究で菊池寛賞を受賞した。

【著書】

主要作品に、『昭和陸軍の研究（上下）』（朝日新聞社）『吉田茂という逆説』『秩父宮』『幻の終戦』（以上、中央公論新社）『東條英機と天皇の時代（上下）』『瀬島龍三（ある参謀の昭和史）』『後藤田正晴（異色官僚政治家の軌跡）』（以上、文藝春秋）『昭和史がわかる 55 のポイント』（PHP 研究所）などのほか、『安楽死と尊厳死』（講談社現代新書）『大学医学部』『大学医学部の危機』『医療崩壊』（以上、講談社）『医学・医療界の内幕』（朝日文庫）『実学と虚学』『昭和史七つの謎』（以上、講談社文庫）『昭和史七つの謎 part 2』（講談社）『あの戦争は何だったのか』（新潮新書）『愛する人を喪ったあなたへ』（朝日新聞出版）『昭和天皇』（中央公論新社）など多数。現在、『昭和史の大河を往く』シリーズ（毎日新聞社）は、全 11 巻を数えている。